



図案の全体を誇り高い鷲にまとめた。胴体は「上田」の文字で骨組み、中央のどがった三角形は、無限の可能性と発展を表す。大空に羽ばたく上田小学校のシンボルである。

うえたっ子 7月



アッ!という間にもう7月です 暑い日が続いても子ども達は元気いっぱい!!

梅雨が明け、沖縄地方は、「真夏モード全開!」といった感じです。しかし、元気な上田っ子達は、セミにも夏の暑さにも負けず、広い運動場で汗びっしょりになりながら、元気に走り回っています。何とも頼もしい限りです。



学校では、コロナ対策として、新しい生活様式のマスクの着用を推奨していますが、これだけ暑いと、熱中症予防の配慮が必要です。それで学校では、体育の時間は言うまでもなく、教室でも、状況を見ながら適宜マスクを外して授業を行っています。



また、登下校の様子を見ていると、炎天下でも帽子を被っていない子が見受けられます。Webサイトで調べてみると「晴天時、外気温30度に5分間いたときの頭の温度は、帽子なし(41.4度)、帽子あり(32.4度)と9度の差」との記事がありました。他にも、「高温に弱い脳細胞を守るために頭にかいた汗をスムーズに蒸発させるには、通気性の良いメッシュや麦わら素材が効果的」とも…。子ども達の帽子もチェックしてあげてください。



今年、コロナウイルス関連の臨時休校の影響で、夏休みも短くなりますので、よろしくお祈りします。

安全に気をつけます! 1年 交通安全教室

6月11日

学校生活にもそろそろ慣れてきた1年生を対象に「交通安全教室」を開催しました。当日は、豊見城警察署のおまわりさんと交通安全協会の方がお見えになり、交通安全について、丁寧に教えていただきました。



まず最初は、信号の見方についてです。

信号機には自動車用と歩行者用があります。ほとんどの子は、赤・黄・青の意味をよく知っておまわりさんの質問にもハキハキと応えていました。

次に安全な横断の仕方について教えていただきました。横断歩道を渡る時は、歩行者用信号が青になってもすぐに渡り始めるのではなく、「右を見て、左を見て、もう一度右を見て、車が止まっていることや来ないことを確認してから手を挙げて渡る」ことを確認しました。手を挙げて渡るのは、小さな1年生でも運転手からよく見えるようにするためだと教えていただきました。

最後に、水難事故が増える季節に向けて、「海水浴、川や海のレジャーには大人の人と一緒にいくこと」を約束し、「はなかつぱの交通安全」のビデオを観て、交通安全教室を終了しました。

7月の主な予定

*①~⑥は学年です

- 2日(木) 人権の日 避難訓練(不審者) スクールカウンセラー来校
- 3日(金) スマホ・携帯安全教室⑥
- 6日(月) 委員会活動⑥ 水泳学習開始
- 7日(火) サイバー犯罪防止教室⑤
- 9日(木) スクールカウンセラー来校 クラブ活動(見学③)
- 13日(月) スクールカウンセラー来校
- 16日(木) スクールカウンセラー来校
- 18日(土) おきなわ地域教育の日
- 19日(日) 家庭の日・ファミリー読書
- 20日(月) クラブ活動(最終回) 尿検査(二次検査 ~21日)
- 21日(火)~ 保護者面談 29日まで
- 23日(木) 海の日(祝日)
- 24日(金) スポーツの日(祝日)
- 31日(金) 1学期前半終了の日



夏のイメージの俳句



夏さじなめて
山口水のしも
山口警子



救える命は自分たちで救え!

6/17

本校では毎年、水泳学習の始まる前に、救急救命(心肺蘇生、AED使用法、エビペン注射等)に関する研修会を行っています。今年は、4月からの臨時休校や水泳学習の見合わせ等で延び延びになっていましたが、7月からの水泳学習開始に向けて救急救命法の研修会を行いました。



今年、専門機関からの講師招聘はできませんでしたが、豊見城市消防本部より心肺蘇生訓練用的人形とAEDをお借りして実施しました。まず、全員で救急救命に関する動画を視聴し、その後5つのグループに分かれて行いました。①傷病者の発見、②安全の確保、③意識の確認、④協力者の要請、⑤119番通報とAED手配の指示、⑥胸骨圧迫、⑦AEDの装着、⑧電気ショックの実行、⑨胸骨圧迫の再開、など、実際の現場を想定し、みんなで声に出し、確認し合いながら行いました。



本校には、児童玄関にAEDが設置されていますので、必要な事態には迷わずご使用ください。

ちょっと「耳グスイ」コーナー

十 ぬ 指 - 同 丈 - 無 ら ん

【意味】十本の指は、同じ丈ではない

自分の手を見てごらんさない。親指、人差し指、中指、薬指、小指、どれも皆、長さが違います。指でさえそうなのだから、人によって容姿や好み、(得意・不得意) 持ち味が違うのは当然のこと。人の数だけいろんな考え方や価値観があるということをおぼえておくこと。自分の価値観のみをよしとし、他人の価値観を認めようとしない者を戒める場合などに用いられる。本土の「十人十色」と同意。(黄金言葉 ウチナンチュが伝えることわざ200編より)



金子みすゞさんの「わたしと小鳥と鈴と」にもありますね。「みんなちがって みんないい」です。

「めるぼん」(学校メーリングサービスの登録をお願いします。)

学校からのお知らせや不審者情報等をリアルタイムで受信できる「めるぼん」への登録をお願いします。学校からは、臨時休校や台風の際の登下校について、学校や学年からの急なお知らせ等、紙媒体でお知らせできなかった様々な情報を「めるぼん」を活用して発信しております。無料で登録できますので、多くの保護者の皆様にご利用いただきたいと思います。なお、登録方法につきましては、学校HPをご覧ください。

